



雪あかりで幻想的な空間が広がる



江刺区

道路沿いに浮かぶ幻想空間

伊手8区で「雪あかり2012」

伊手8区自治会館周辺と国道397号沿いで2月11日、「雪あかり2012」が開催され、約300灯にわたり雪あかりがとまりました。

伊手8区青年部（佐藤良弘部長）が主催する同イベントは、地域住民の交流を目的に実施されたもので、今回が2回目の開催。雪あかり作りには、子どもたちを含む地域住民ら約30人が参加。約3時間を掛けて作られた250基余りの雪あかりは、周辺一帯を幻想的な空間へと変えていきました。

水沢区

子どもも大人もあいのうた

まちなか交流館ライブイベント

まちなか交流館で初めての音楽イベント「音なるほうへ」が2月11日に開催されました。約5時間にわたる出演者らの個性あふれる演奏は、会場に足を運んだ大勢の観客を魅了していました。

出演したのは、水沢区のシンガーソングライターのツジヤマガクさんをはじめ、市内を中心に活動しているアーティストら8団体。出演者と観客が一体となって歌を歌ったり、手拍子でリズムを取ったりと会場は大きな盛り上がりを見せていました。

大きな盛り上がりを見せたツジヤマガクさんらの演奏



前沢区

大海原からの帰還を願って

白鳥小学校児童がサケを放流

白鳥小学校（児童数48人）の「鮭を送る会」が2月29日、前沢区の白鳥川で行われました。同校130周年記念行事として始まったこのイベントは、今回で9回を数えます。

この日は、およそ5万匹のサケの稚魚約1万匹を、全校児童で放流。震災の影響が心配された昨年も、白鳥川では元気なサケの遡上が見られています。6年生の原田由美さんは「私は白鳥地区が大好き。大きくなって、この川に戻って来てほしい」と話していました。



4年後の遡上に期待を込めて、流す白鳥小学校6年生8人



彩り鮮やかに出来上がったちらしずし

胆沢区

おふくろの味こそ食の基本

愛宕公民館料理教室「Cookママ」

料理教室「Cookママ」が2月9日、胆沢愛宕公民館で行われ、桃の節句料理に挑戦しました。

子どもたちの食生活を見直そうと、平成20年から始まったこの教室。講師が渡辺貞子さん（食の匠）とあって、胆沢区以外からの参加者もあり、受講生は40人にのぼります。この日は、ちらしずしや菜の花のからし和え、がんづきなどの5品を調理。受講生は、昔ながらのおふくろの味を覚えようと、熱心にメモを取りながら調理していました。

衣川区

笑顔と歓声あふれる銀世界

国見平スキー場で「雪のうんどうかい」



メーンの人力ばんばレース。力を合わせてそりを引く子どもたち

前沢公民館と衣里地区センター、北股地区センターの3館で主催する「雪のうんどうかい」が2月5日、国見平スキー場でにぎやかに繰り広げられました。これは、子どもたちの交流と冬季のレクリエーションを目的に、初めて開催されたもの。

イベントには、学区を越えて90人の子どもたちが集結。宝探しやアイスクリーム作り、人力ばんばレースなどで、白い息を弾ませながら雪の感触を満喫しました。学校対抗で行われた人力ばんばレース。子どもたちの懸命に応援する声がスキー場に響きわたりました。加藤咲良さん（衣里小3年）は「アイスクリームが簡単にできてびっくり。おいしかった」と話していました。

水沢区

米粉メニューを家庭料理に

奥州・金ヶ崎米級グルメまつり

胆江地方農業振興協議会（千葉実会長）主催の米粉の消費拡大を狙った「奥州・金ヶ崎米級グルメまつり」が2月19日、水沢区内のホテルで開催されました。

去年に引き続き2回目の開催となるこのイベント。今回は家庭でもできる米粉メニューをバイキング形式で味わってもらおうと企画されたものです。会場には米粉を使った煎餅汁からスイーツに至るまで17種類の料理が所狭しと並べられ、訪れた約300人の来場者は思い思いに米粉料理を堪能していました。

お好みの米粉料理を選ぶ来場者の行列



空中で華麗な技を披露する選手

胆沢区

華麗な空中技が雪山に舞う

ひめかゆカップワンメイク大会

第13回ひめかゆカップワンメイク大会が2月5日、ひめかゆスキー場を会場に行われ、県内外から集まった63選手が華麗な空中技を披露しました。

遠くは宮城県からも選手が駆けつけたこの大会。雪が降りしき中、選手らはスキーやスノーボードで斜面を滑り降りると、「キッカー」と呼ばれるジャンプ台から空中高く飛び出しました。垂直、水平方向に回転したり、体をひねってポーズを決めるなど、次々に繰り出される演技に大きな歓声が上がっていました。